



## 東部教育事務所社教便り『社窓』

No.24 (平成25年9月)

所在地：安芸市矢ノ丸1-4-36

TEL：0887-34-3591 (百々)

FAX：0887-34-3592 (大谷)

E-mail：310304@ken.pref.kochi.lg.jp

### PTA・教育行政研修会（安芸地区及び香美・香南地区）

毎年県内7地区で行われているPTA・教育行政研修会が、8月3日（土）に安芸地区で、8月24日（土）に香美・香南地区でそれぞれ開かれ、安芸地区では82名、香美・香南地区では92名の参加を得て、盛大に開催することができました。

この研修会は、「学校・保護者・行政が一体となり、子どもたちをとりまく状況の課題解決に向けて取り組む。」「PTAが組織的に対応するための体制をつくり、行動化を促進する。」「PTAとして研修に参加し、研修の方法を学び、PTAとして何ができるのか考える。」という趣旨で、各地区市町村PTA連絡協議会と高知県教育委員会主催のもと開かれています。今年のテーマは、「心身ともに健やかで自ら学ぶ意欲のある子どもを育もう」でした。



研修会の全体会では、各地区PTA連絡協議会会長、高知県教育委員会教育次長のあいさつの後、県教育委員会から高知県及び東部教育事務所管内の子どもたちの現状と課題、県教育委員会の施策等について、次のような説明がありました。

- ・「高知家の子ども見守りプラン～少年非行の防止に向けた抜本強化策～」について
- ・「知」と「体」の数値面では改善傾向が見られるため、これからは特に「徳」の面に力を注いでいくこと
- ・学力には、生活習慣が大きく影響すること（早寝早起き朝ごはんの大切さ）
- ・中学生のためのキャリア教育副読本「みらいスイッチ」を使った取組について など

- その後の分科会では、
- A. 学力向上のためにPTAでできること
  - B. 自分も人も大切にできる心豊かな子どもを育てるには（安芸地区）  
子どものよいところを見つけよう～自尊感情を育むために～  
（香美・香南地区）
  - C. PTA・子ども・地域、みんなで取り組む防災活動

という3つのテーマごとに10名前後のグループに分かれ、それぞれのテーマに関する課題解決のために何ができるのかを考えました。

それぞれのテーマで、まとめとして次のようなことが出されました。

<p>A：家庭でできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駆け引きで勉強させない</li> <li>・「みんながやっているから・・・」と言わせない家の方針をもつ</li> <li>・できるだけ自分で考えさせるようにする</li> <li>・親が夢を語る</li> <li>・子どもの勉強中はテレビを消す</li> </ul>	<p>A：PTA活動としてできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーテレビデー、早寝早起き朝ごはん、学習習慣を身に付けさせる</li> <li>・PTAの研修会で勉強し合う</li> <li>・保護者のつながりをつくり、気づく、学ぶ</li> <li>・文字や言葉に多く触れさせる</li> <li>・本や新聞にふれる機会を増やしていく</li> </ul>
---	--



B：家庭でできること

- ・悪いことをしたら、しっかりしかる
- ・地域での自然体験
- ・子どもと一緒に過ごす時間をとる
- ・家庭で役割をもたせ、手伝いをさせて、ほめる
- ・ありがとうの言葉を大切にする
- ・親が楽しくしている姿を見せる



B：PTA活動としてできること

- ・地域で行う学P行事
- ・親子でできる運動や遊びの情報提供（研修会や参観日を通して）
- ・親子読書・読み聞かせ
- ・日常、体験できないような体験をしてきた人の生き方・考え方に学ぶ
- ・挨拶運動
- ・大人から声かけ運動を始める

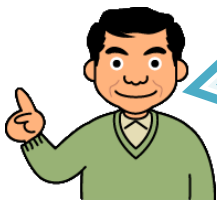
C：家庭で、また、地域社会の一員としてできること

- ・持ち出し袋や靴の準備・点検
- ・備蓄品の準備
- ・危険箇所のチェック
- ・夜間避難訓練

C：PTA活動としてできること

- ・避難訓練、学習会、引き渡し訓練、避難経路の草刈り
- ・学校だけの取組とせず、地域全体の取組としていかなければならない
- ・対策のスピードアップ
- ・地域の子どもは地域で守るという意識と雰囲気育てていく

<参加者の声>



各単位PTAの取組とPTA役員・教員の方々の考え・思いがグループ内でシェアでき、とてもよかったと思います。今後のPTA活動に役立てていきたいです。

（香美・香南地区）



今日からの育児の参考になる話が聞けて良かったです。保護者の参加が少ないのが残念でした。（安芸地区）



学校で防災訓練を行うにあたり、保護者への引き渡し訓練の方法についてなど、参考になる話を聞けました。（安芸地区）

閉会にあたり、両地区PTA連絡協議会会長から、

「今日の研修はいずれも貴重なものとして参考になるものばかりであった。私たちが今すぐできることもあったと思う。」

「どの分科会も、日頃の生活リズムや食習慣、一般常識など、意外とベーシックな、人として基本的な部分に関わることが多いように感じられる。」

「全てのことをすぐに行うことは困難でも、何か一つでも各学校、家庭に持ち帰っていただき、子育てのヒントにさせていただきたい」等のあいさつがありました。

会長のあいさつの通り、この日の話し合いの成果を是非、各単位PTAに持ち帰り、後の子育て・PTA活動に役立てて欲しいです。



## 第2回子どもの読書活動協働推進のための熟議（東部ブロック）

8月5日（月）に、第2回子どもの読書活動協働推進のための熟議（東部ブロック）が、安田町文化センターにて開催されました。第1回同様、各市町村教育委員会読書担当者や各学校図書館担当者、市町村図書館職員、読書ボランティア等が集まり、子どもの読書活動を地域ぐるみで支える環境を整備するための活発な意見交換が行われました。

今回は講師に、島根県松江市教育委員会学校教育課指導研修係学校図書館支援センターの原田由紀子先生をお招きし、「読書関係者の連携による子どもの読書活動の総合的推進」という演題でご講話いただき、地域の読書活動を推進していくためにはどうすればよいかという方策を、詳しく・分かりやすく話していただきました。



その後、原田先生の講話をもとに、各市町村からの参加者が各班に分かれて、自分の市町村の課題と、これからの方針について話し合いました。

図書室（館）の未整備や本を借りに来る人の固定化、本を買う予算自体が少ないことなど、たくさんの課題や読書環境を整えるための案が出されましたが、グループ協議終了後には、次のような改善策や原田先生からのアドバイスをいただきました。

- ◆図書館の環境整備（before・afterの写真を撮り、図書室が整理されていく道筋をみんなに知らせる）
- ◆公民館の方が学校図書館を開けに行く（人的交流）
- ◆本を1冊読むごとにシールを貼り、読書量のランキングを月ごとに発表していく。
- ◆読書リレー（本を読んだ人が、次に貸し出す人を決め、その本の感想も書いておく。）
- ◆小中連携しての読書ビンゴ（指定した本を読むとハンコを押していき、ビンゴの達成者の名前を図書室にはっていき）・・・教師も参加して行う
- ◆地域の人が学校に読み聞かせに入る など

第1回目の内容を生かした、深まりのある熟議となったと思います。どのグループの話し合いからも、様々な課題がありながらも、地域の読書活動を推進していこうという熱気が感じられました。